

# 日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社  
 〒135-0041 東京都江東区冬木2-3-4  
 編集・営業 ☎03-3820-3500  
 FAX03-3820-3519  
 総務・販売 ☎03-3820-3511  
 FAX03-3820-3518  
<http://www.n-mokuzai.com/>  
 eメール info@n-mokuzai.com  
 購読料 1ヵ月 6,000円

©日刊木材新聞社 2010  
 本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

おかげさまで  
**創刊65年**  
 木材建材ワイワリー  
 Japan Lumber Reports

**総合床工事**  
 フローリング  
 新建材

マルコー(株)に  
 御用金下さい

江東区新木場1-9-6  
 TEL (3521)0505  
 FAX (3521) 0931

山形県から新潟県へ、協同組合が県境を越えて国産材ラミナの供給を開始した。トーセングループ(東京清寿社長) 入りした新潟県北部木材加工協同組合(スギトピア、新潟県村上市、東京清寿代表理事)へラミナを供給する温海町森林組合(山形県鶴岡市、佐藤重夫代表理事組合長)は25日、ラミナ製材用短尺製材施設の安全祈願・竣工式を開催し、年間1万立方分の原木を消費、4800立方分のラミナを供給していくと公表した。

## 杉ラミナ挽き製材工場が竣工

### 杉2mの原木のみ年1万<sup>3</sup>m消費

山形・温海町森組

スギトピアは杉ラミナの供給者を探していた。一方、温海町森組は杉短尺材の処理に頭を悩ませていた。双方の問題を解決したのが、今回の県境を越えた連携システムの構築だった。

山形県庄内地区には本格的なKD施設を持つ製材・集成材工場がない。また2層の短尺材丸太も、県内に合板工場がないために全量、隣県へ出荷している。しかしリーマン・ショック以後、出荷調

整を強いられるなど影響が出た。一方でスギトピアは大型乾燥機の導入、FJ間柱や集成材加工を進行施設の設備を進め、原木とラミナの安定供給先を求めてい

そこで、スギトピアを核として温海森組が短尺製材施設を整備しラミナ供給を担う、県境を越えた新たな製造・流通システムが構築されたもの。これで販

路が安定し、素材生産活動が活性化すると温海森組では予測している。今回設置された施設概要は、短尺用ツイン帯鋸盤1台、自動耳すり機1台、ギャングリ

ツパー1台、チップパー1台、搬送装置など。事業名は「10年度山形県森林・林業・木材産業づくり交付金」。総額1億2000万円で、国が50%、市が10%、事業者が40%を負担し

0立方分にとどまっていた。なお同森組素材生産9000立方分のうち、今回の製材用2層材は1500、2000立方分しかなく、不足分は山形県森連から

供給を受けることになっている。佐藤代表理事の話、01年から一般製材を行っていたがコスト面で問題があった。今回、新潟北部の東泉代表理事からラミナ供給の話があり、例のない県境を越えた流通システムが実現した。国、県、

市にご理解をいただきたい。地域林業の振興につながると思う。東泉社長の話 スギトピアは8月まで毎月200万円の赤字だっ

たが、9月から黒字に転換した。11月は大黒字になる見込みだ。温海の木は目が話んでおり非常に良い。側取り材は集成材にしないでムクで販売したいくらいだ。



新設された短尺製材施設

**階段プレカット 特急便 驚異!! 翌日出荷**

詳しくは弊社までお問い合わせ下さい。

**TSC株式会社 ティ・エス・シー**  
 〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53  
 TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349

**主な記事**

- ▽2面 木と任まじ総
- ▽4面 めに情報交換
- ▽4面 中国地方版
- ▽5面 要拡大めぐりの
- 特集 コアプ
- 木造スーパー